

しんきん証券
ディスクロージャー誌
2025

Shinkin Securities Co., Ltd.
Disclosure 2025

○ 経営理念

健全な市場取引の実践および
多様な運用商品の提供等を通じ、
信用金庫をはじめとする
お客様に必要とされる証券会社として、
市場経済発展の一翼を担う。

○ 運営方針

1. 誠実

顧客本位の業務運営を徹底し、信念を持って誠実に行動する。

2. 顧客志向

迅速かつ有益な情報提供、課題解決のための的確な提案等を通じて、お客様の満足度を高める。

3. 挑戦

健全経営に徹しつつ、事業の成長に向けて挑戦し続ける。

4. 法令遵守

企業コンプライアンスの徹底を通じて、信用の維持・向上につとめる。

5. 人材育成

プロフェッショナルな人材の育成と働きがいのある職場環境を創る。

○ しんきん証券プライド

● 金融機関中心のホールセール専門証券会社としての専門性と情報力

多様な金融業態出身者で構成されるプロ集団が長年にわたって培った専門知識や経験、様々な情報により全力でお客様をサポートします。

● 豊富な資本と堅実な経営を背景とした健全性と信用力

証券会社の経営の健全性を示す「自己資本規制比率」は証券業界屈指です。また、日本格付研究所(JCR)の「長期発行体格付」は AA と証券業界で最も高い水準を維持しています。

● 少数精鋭の小規模組織による迅速で丁寧なお客様対応

お客様との全ての取引を把握する営業担当者と専門の商品担当者がチームワークによって迅速で丁寧な対応やフォローアップを実現しています。

● 機関投資家向けの金融商品に特化した効率性と機動力

機関投資家のニーズが強い分野に経営資源を集中し、製造と販売が一体化した当社独自の体制を武器に、競争力あるコストでタイムリーな商品提供を心掛けています。

● 「しんきんブランド」の安心感と信頼感

お客様を大切にし、お客様の喜びを喜びとする信用金庫の精神を持った証券会社です。
当社以外の取引や商品であってもセカンドオピニオンのような情報提供等を行っています。

CONTENTS

経営理念 運営方針	1
しんきん証券プライド	2
ご挨拶	3
組織図	4
役員・本部長紹介	5
業務の全体像	7
財務ハイライト	9
業務ハイライト	11
財務諸表(要約)	12
信用金庫と信金中央金庫	13
お客様とともに歩み続けます	14
会社概要	14

お客様の喜びを喜びに

先用 後利

いちばん近くのプロフェッショナル

先用 後利

ご挨拶



代表取締役社長
佐々木 英樹

皆様には、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

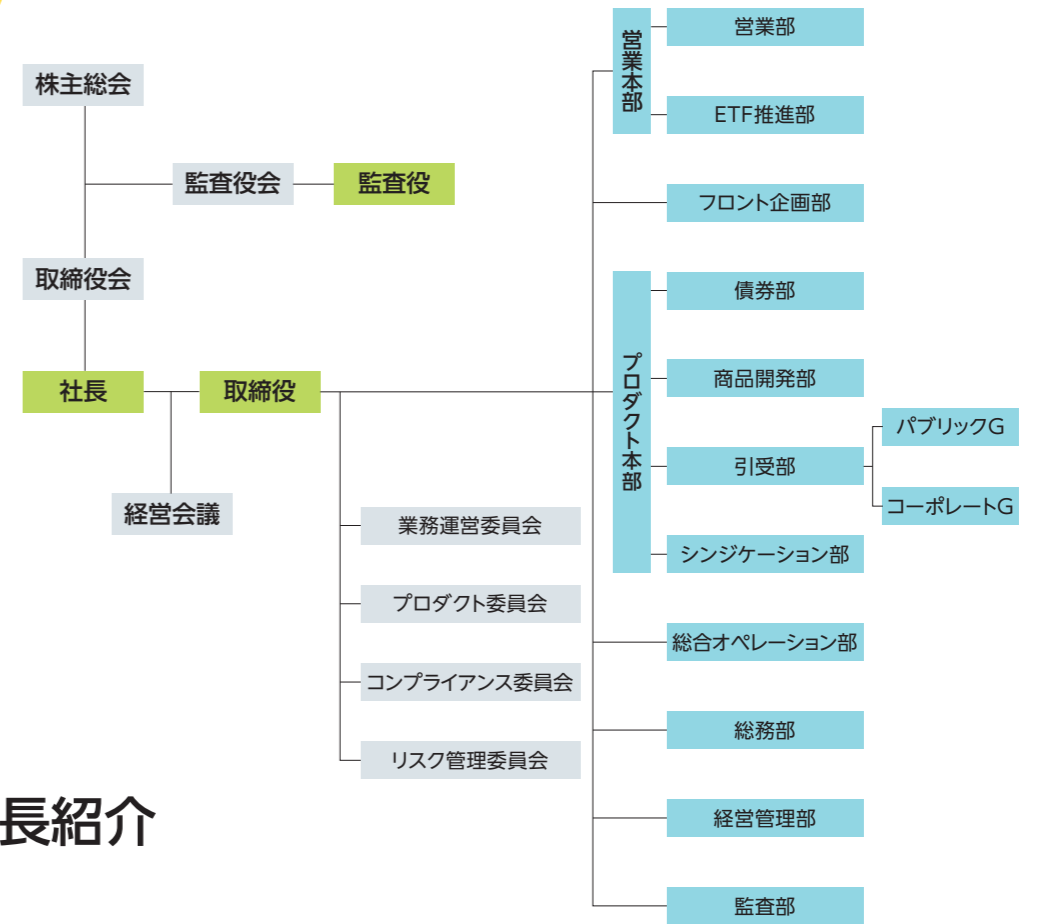
弊社は、信用金庫をはじめとする機関投資家の皆様の資金運用ニーズに応える証券会社として、1996年に信金中央金庫の100%出資により設立されました。開業以降、取扱業務は、債券売買を中心に、公社債の引受、投資信託の販売、ETFの取次など、拡大を続けております。これもひとえに取引を通じて弊社を育てていただいた皆様のお陰と存じます。心より感謝申し上げます。

さて、わが国の金融証券市場は、世界経済の不確実性の高まりとともに、「金利のある世界」から「金利が動く世界」へと大きな転換局面に入っております。こうした環境変化のもと、弊社においては、投資家の皆様の売買ニーズとご発行体様の起債ニーズの両方に適時適切にお応えできるよう、今年度から「中期経営計画2025-2027」をスタートし、証券仲介機能の更なる強化に取り組んでおります。

「お客様の立場になって考え、多様な運用商品の提案や提供等を通じて、必要とされる証券会社であり続けたい」とする弊社の基本精神のもと、引き続き皆様のお役に立てるよう、そして、信頼され、支持いただけるよう、役職員一同、全力で努力してまいります。

引き続きご愛顧のほどお願い申し上げます。

組織図



役員・本部長紹介

代表取締役社長 佐々木 英樹

1988年 4月 全国信用金庫連合会(現 信金中央金庫)入会
 2012年 4月 市場運用部長
 2014年 6月 財務企画部長
 2016年 4月 信託企画部長
 2016年 11月 信託部長
 2018年 6月 理事(信託部長委嘱)
 2019年 6月 理事(大阪支店長委嘱)
 2021年 6月 常務理事
 2023年 6月 当社 代表取締役社長
 [監査部]

取締役プロダクト本部長 田中 宏之

1991年 4月 全国信用金庫連合会(現 信金中央金庫)入会
 2012年 4月 人事部付信用金庫出向 資金証券部長
 2014年 4月 四国支店長
 2017年 4月 市場業務部長
 2019年 6月 市場運用部長
 2022年 6月 当社 取締役
 2024年 1月 プロダクト本部長委嘱
 [総務部・債券部・引受部・シンジケーション部]

取締役営業本部長 猪野 正雄

1995年 4月 全国信用金庫連合会(現 信金中央金庫)入会
 2014年 4月 人事部付信用金庫出向 資金証券部長
 2017年 7月 信用金庫部 上席審議役
 2019年 4月 市場営業部長
 2021年 4月 市場業務部長
 2024年 4月 信用金庫部 上席審議役
 2025年 6月 当社 取締役
 [営業部・ETF推進部]

取締役 梅津 勝也

2000年10月 入社
 2017年 4月 市場開発部長
 2017年 6月 商品開発部長
 2020年10月 営業本部長
 2022年 6月 プロダクト本部長
 2023年 6月 執行役員プロダクト本部長
 2024年 1月 執行役員
 2025年 6月 取締役
 [フロント企画部・商品開発部]

監査役 森下 大悟

2007年 1月 信金中央金庫入庫
 2015年 4月 開発投資部 投資第1グループ 上席審議役
 2015年 6月 開発投資部長
 2019年 4月 監査部 上席検査役
 2022年 3月 当社 監査役

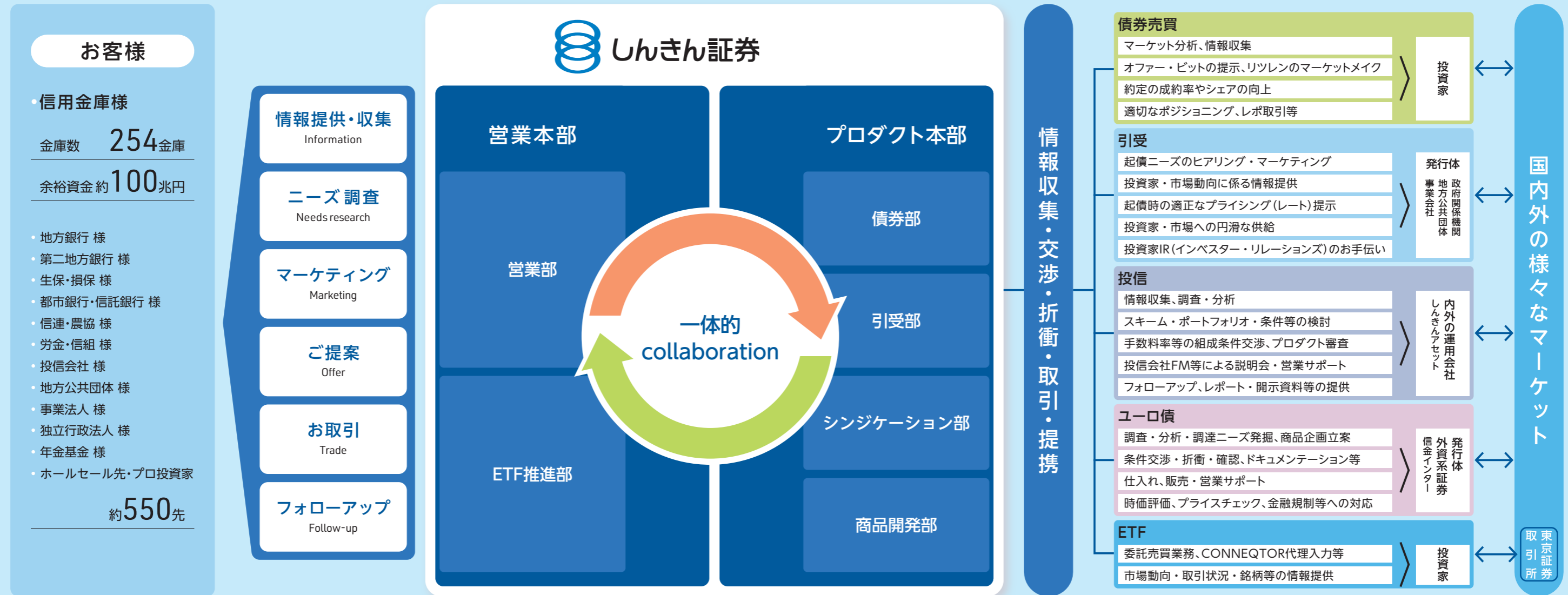
執行役員経営管理部長 古森 義明

2000年10月 入社
 2020年 8月 総務部長
 2022年10月 総合オペレーション部長
 2023年 4月 経営管理部長
 2023年 6月 執行役員経営管理部長 内部管理統括責任者
 [経営管理部・総合オペレーション部]

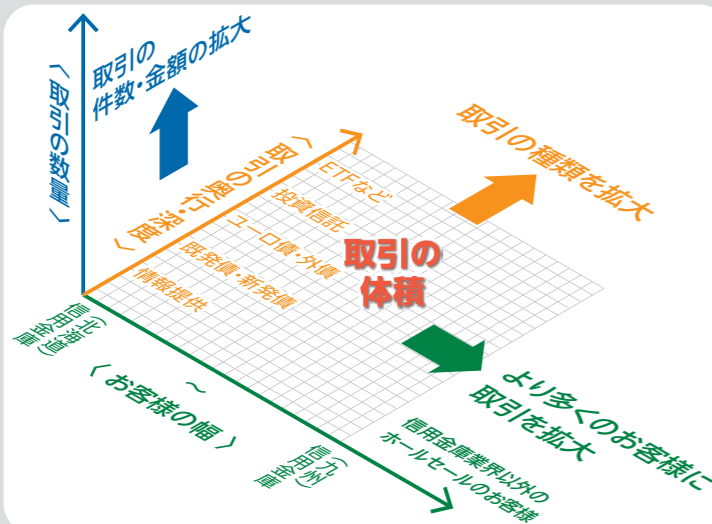
執行役員引受部長 濱名 明

2008年 9月 信金中央金庫入庫
 2020年 4月 しんきん証券 出向
 2022年 3月 入社
 引受部部長
 2022年 7月 引受部長
 2025年 6月 執行役員引受部長

業務の全体像



営業の方向性



☞ ホールセール専門の証券会社としてお客様の裾野を広げ、取引をボリュームアップすることによって、より有利な条件での商品の組成や流動性の確保が可能となります。

取引の数量や種類を拡大することはお客様のメリットを高めることにつながります。

☞ 債券から投信・ETF、流動化商品まで、お客様のニーズに対応して様々な商品や市場動向などの情報をご提供します。

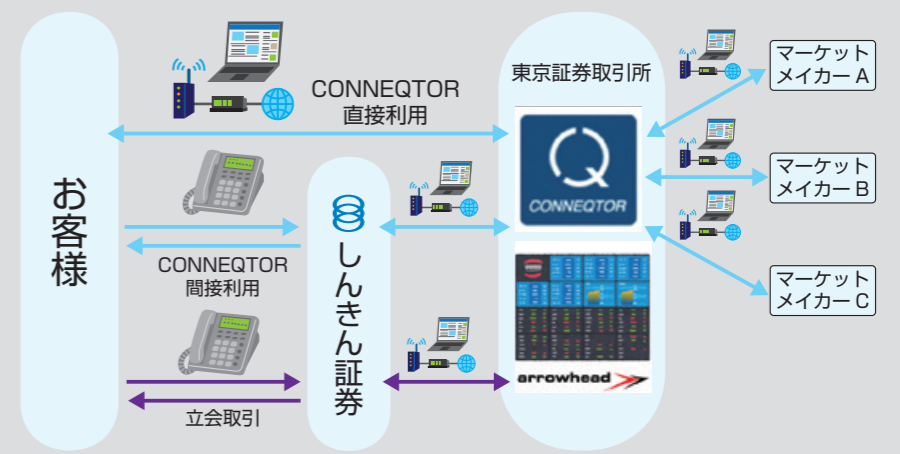
また、お取引いただいた商品につきましては、できる限りフォローアップさせていただきます。

ETF業務

・当社のETF取引方法は右図のとおり3通りです。

- ① 投資家自らがCONNNECTOR(コネクター)に直接入力する直接利用
- ② 電話発注により当社担当者がCONNNECTORに代理入力する間接利用
- ③ 電話ベースの立会取引

ETFのお取引方法

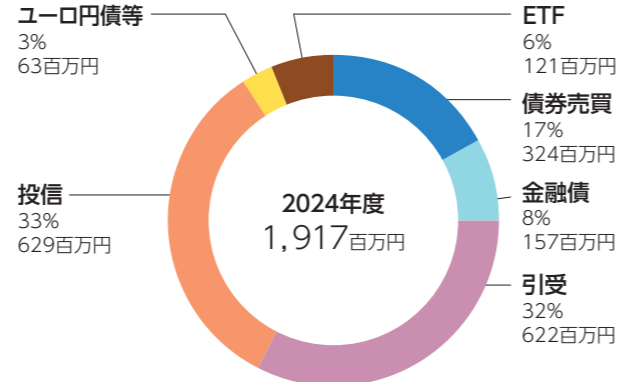
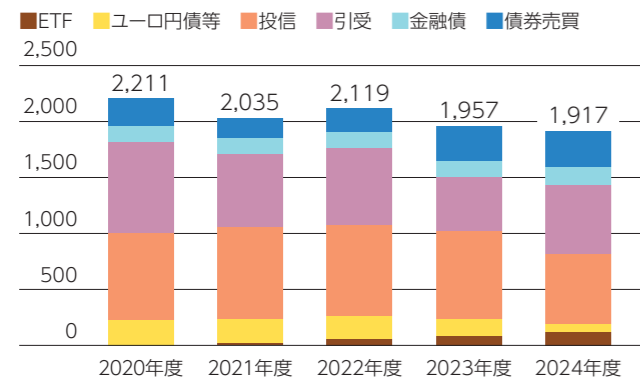


※CONNNECTORを利用したお取引は立会外取引となります

財務ハイライト

○ 業務別営業収益

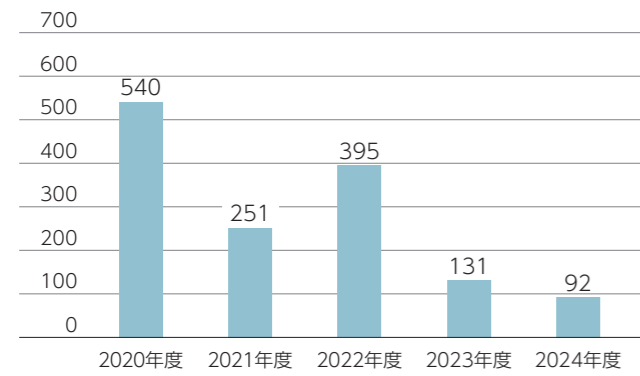
(単位：百万円)



内外金融市場は不安定かつ不透明な環境ではありましたが、引受業務の回復およびETF収益の増加により、営業収益全体では約2%程度の減少にとどまりました。

○ 営業利益

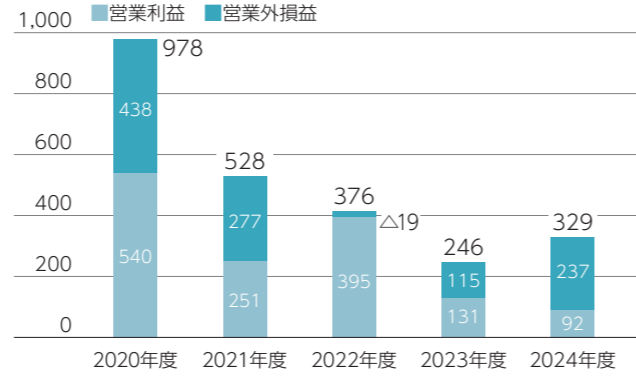
(単位：百万円)



営業外損益の増加により、経常利益は増加となりました。

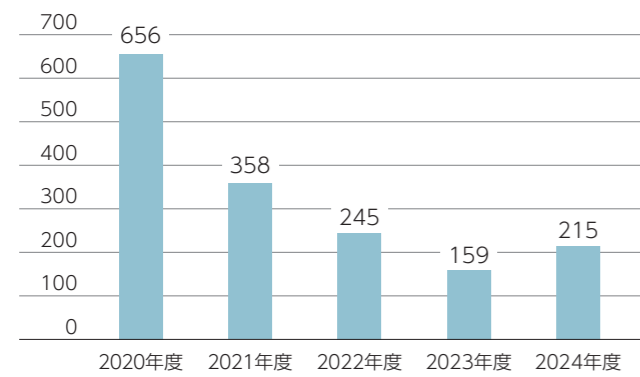
○ 経常利益

(単位：百万円)



○ 当期純利益

(単位：百万円)

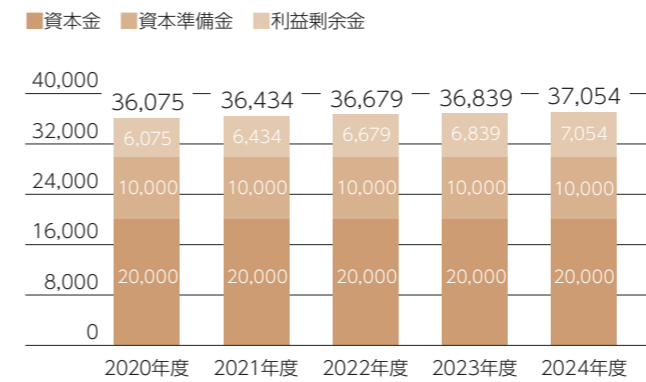


当社は、単年度の収益拡大を図るよりも、お客様に利用していただける証券業務を営むための安定的な収益の確保を目指しています。

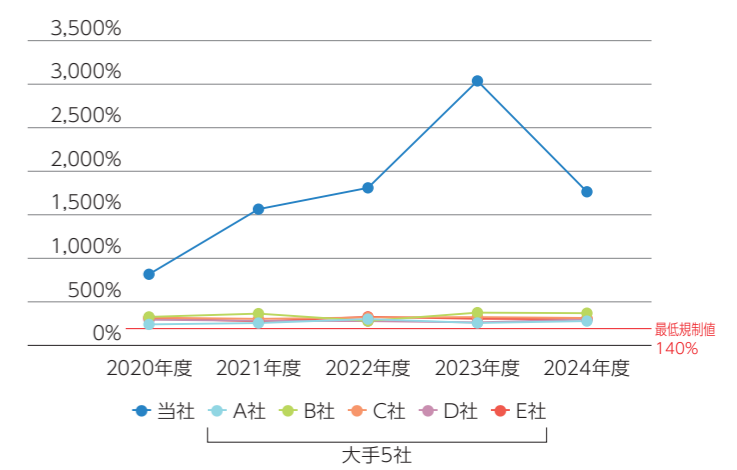
- ✓ 証券会社である当社は、取引の繁閑に大きく左右されるフロー収益を中心とした収益構造となっています。
- ✓ 内外金融市場の不安定かつ不透明な状況のなか、今後も当社の特色を活かしながら、お客様のニーズに合わせた商品を提供させていただきます。

○ 自己資本

(単位：百万円)



○ 自己資本規制比率

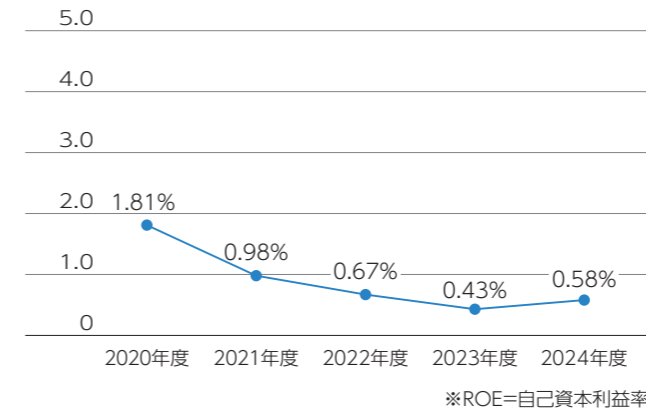


当社の自己資本規制比率は法令等で求められる下限値の140%に対し、安全性を重視する事業運営などにより概ね1,000%を超えて推移しており、証券業界でも有数の高さとなっています。

※自己資本規制比率：証券会社の健全性を測る指標(固定化されていない自己資本÷リスク相当額×100)

○ ROE (Return on Equity)

(単位：%)



- ✓ 当社は事業規模等に比較して豊富な自己資本を有しています。
- ✓ 一方で、資本対比の収益性を示すROEは他の証券会社と比較して低い水準にとどまっています。当社では中期的な収益の水準としてROE1%を目指しています。

○ 日本格付研究所(JCR)による証券会社長期発行体格付一覧

AA+	—
AA	しんきん証券、SMBC日興証券、みずほ証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券
AA-	野村證券
A+	大和証券
A	SBI証券
A-	楽天証券、GMOクリック証券
BBB+	岡三証券、東海東京証券

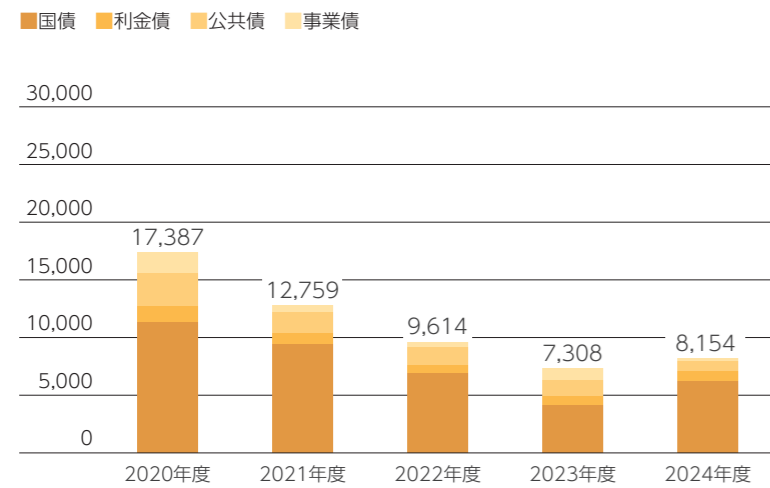
※日本格付研究所(JCR)ホームページURL <https://www.jcr.co.jp>

(2025年5月30日現在)

業務ハイライト

○ 債券種類別売買金額

(単位：億円)



- ・日銀の利上げ継続姿勢により、円金利は上昇基調となっています。金利のある世界の復活により、減少傾向にあった債券売買金額は増加に転じることとなりました。

- ・当社では、多くのお客様にお取引いただくため、営業部門とトレーディング部門の連携により、成約率の維持向上、売買シェアの確保に努めています。

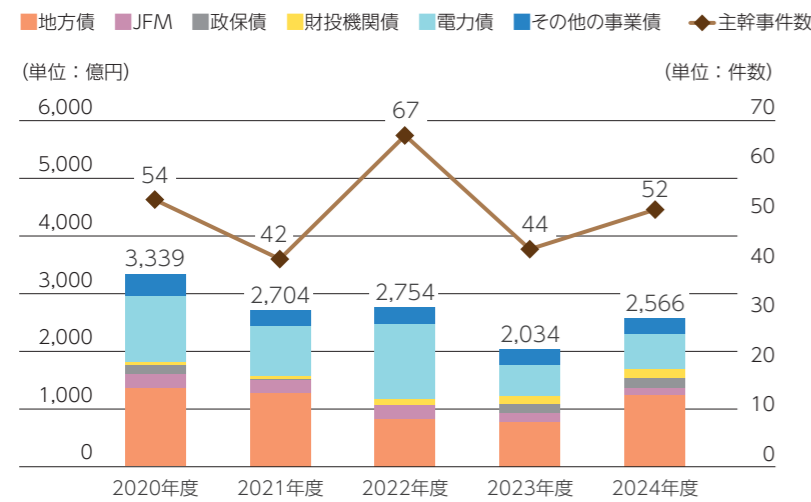
- ・引き続き、1件1件のお客様からの引き合いを大切にすることを堅持してまいります。

信用金庫との成約率、売買シェア (参考)

成約率 (国債以外)	売買シェア (国債)
2023年度 79.5%	2023年度 10.1%
2024年度 70.3%	2024年度 11.8%

※成約率=約定回数÷引回数×100

○ 引受額および主幹事件数



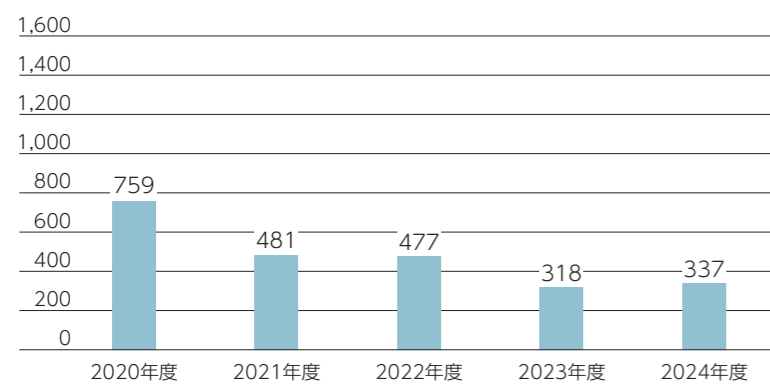
- ・事業会社、地方公共団体、財投機関等に起債提案し、主幹事引受や入札などにより仕入れた新発債の販売を行っています。

- ・2024年度につきましては、特に地方債マーケットにおいて、グリーン共同債をはじめ大型の主幹事案件を複数獲得したことにより、主幹事件数・引受額とも前年度を上回る実績となりました。

- ・起債提案や入札にあたりましては、精緻に投資家の需要を探り、発行体と協議を重ねることで適切なレート提示や情報の橋渡しを心掛け、引受業務の推進に取り組んでまいります。

○ ユーロ円債・外貨建て媒介の取扱高(合計)

(単位：億円)



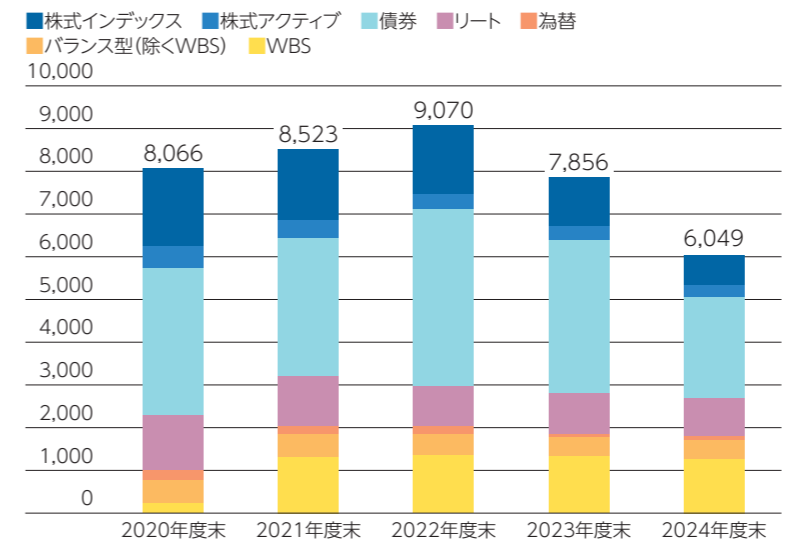
- ・信金中央金庫グループの「信金インターナショナル」や国内の隅々までをカバーする営業網を持たない外資系証券会社と連携し、調達ニーズやマーケット環境の変化を迅速に調査・分析しながら競争力のある商品の提供に努めています。

- ・ユーロ債の中心となる海外発行体の債券は、調達ニーズ(または信用力)やデリバティブマーケットなど変動要素となる項目が多いため、背景を含めた情報提供を意識しています。

- ・金融規制、リスク、時価評価等に関するサポートも重要であると考えています。幅広い範囲の情報提供は、当社が販売した商品以外のセカンドオピニオンとしてもご利用いただいています。

○ 投資信託純資産残高

(単位：億円)



- ・信金中央金庫グループの「しんきんアセットマネジメント投信」ほか内外の運用会社と幅広く連携し、良質な私募投信を適時適切かつより競争力のあるコストで提供できるよう努めています。

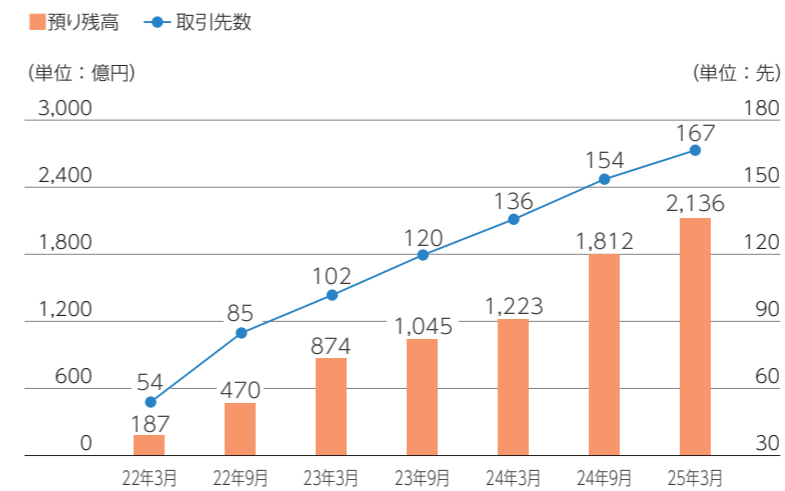
- ・商品の設定にあたっては、常にバイサイドの視点に立ってメリットとデメリットを客観的に考え、お客様に明示しています。

- ・マーケットの動向、金融規制等、保有期間中におけるリスク管理の一助となる情報を機動的に配信することも心掛けています。

- ・信用金庫の皆様、信用金庫業界以外の皆様にも幅広くお取引いただき、2020年7月に販売を開始したWBSの残高は引き続き堅調に増加しています。

※WBS:World Balance Strategy

○ ETFの預り残高と取引先数

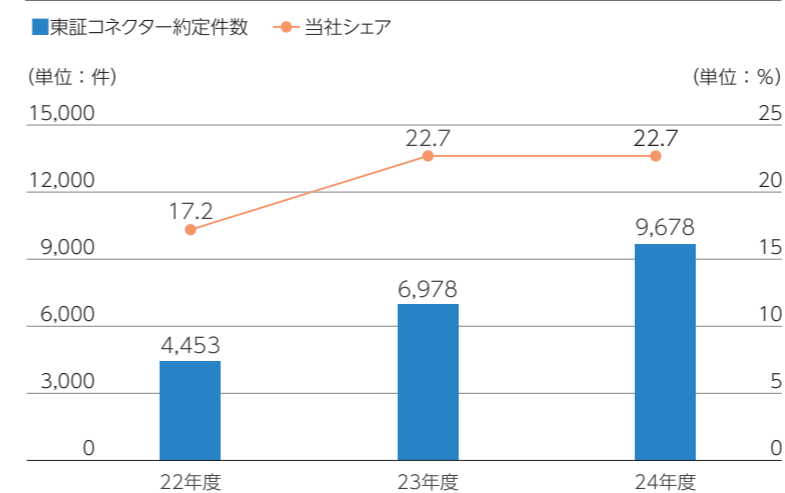


- ・2021年12月よりETF(上場投信)業務を開始しました。その後、ETFの預り残高と取引先数は順調に増加しています。

- ・当社のETF取引先は適格機関投資家を対象としていますが、信用金庫をはじめとして160先を上回るお客様より、多くの取引をいただいております。

- ・2024年4月より、保護預りに加え、常口座や特金口座といった信託銀行勘定を利用する投資家からの受注にも対応できるようになりました。

○ コネクターの約定件数(東証全体)と当社シェア



- ・CONNECTOR(コネクター)は、東京証券取引所が提供するETF専用の取引システムです。複数のマーケットメーカーがレート提示するスキームのため、取引金額の多寡にかかわらず、よりシャープなレートで取引できる可能性が高まります。

- ・当社では、投資家による直接利用、および電話発注による間接利用により、CONNECTORを効果的に活用することで約定件数を増やしてきました。

- ・東証全体のCONNECTOR取引が右肩上がりであるなか、約定件数ベースの当社シェアは20%台へと高まりました。結果として、同シェアは証券会社の中で、「1位」となっています。

財務諸表 (要約)

○ 貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	2023年度	2024年度	増減額	科 目	2023年度	2024年度	増減額
流動資産	62,632	89,239	26,607	流動負債	37,537	69,416	31,879
現金・預金	33,350	39,137	5,787	トレーディング商品	4,281	19,170	14,889
預託金	3,532	1,348	△ 2,184	有価証券担保借入金	31,496	20,003	△ 11,493
トレーディング商品	5,759	27,865	22,106	短期借入金	-	29,000	29,000
有価証券担保貸付金	15,099	17,692	2,593	固定負債	140	162	22
固定資産	11,918	17,359	5,441	退職給付引当金	123	137	14
有形固定資産	88	127	39	特別法上の準備金	14	20	6
無形固定資産	102	62	△ 40	金融商品取引責任準備金	14	20	6
投資その他の資産	11,727	17,169	5,442	負債合計	37,692	69,599	31,907
				純 資 産 の 部			
				株主資本	36,839	37,054	215
				資本金	20,000	20,000	-
				資本剰余金	10,000	10,000	-
				利益剰余金	6,839	7,054	215
				評価・換算差額等	18	△ 56	△ 74
				純資産合計	36,857	36,998	141
資産合計	74,550	106,598	32,048	負債・純資産合計	74,550	106,598	32,048

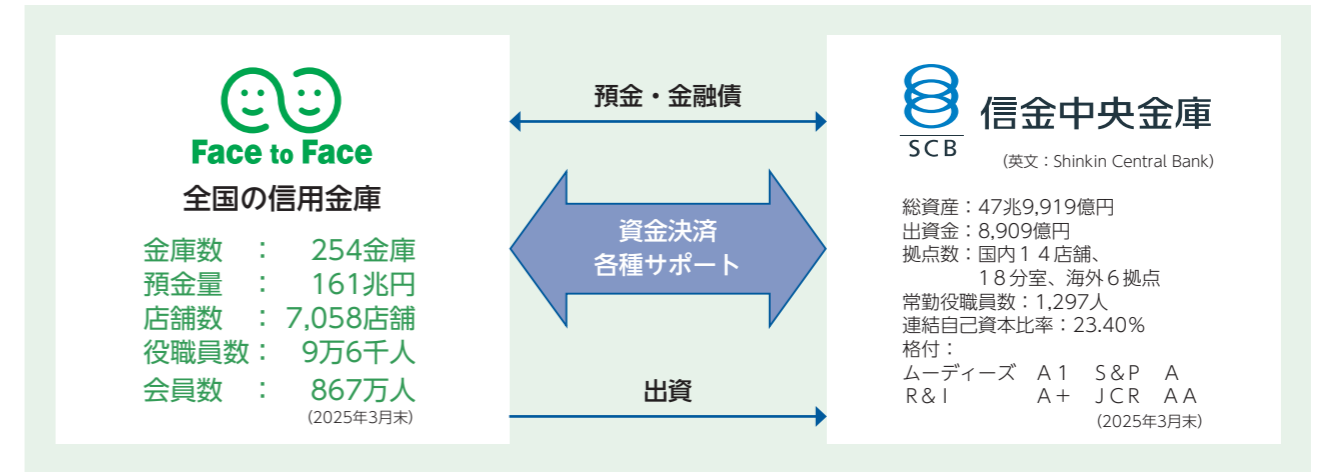
○ 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	前年度増減額
営 業 収 益	2,211	2,035	2,119	1,957	1,917	△ 40
受 入 手 数 料	1,859	1,764	1,809	1,575	1,610	35
ト レ ー デ ィ ン グ 損 益	210	168	192	186	81	△ 105
金 融 収 益	141	102	117	196	225	29
営 業 費 用	1,671	1,783	1,723	1,826	1,825	△ 1
金 融 費 用	8	4	12	92	95	3
販 売 費 ・ 一 般 管 理 費	1,662	1,779	1,711	1,734	1,729	△ 5
営 業 利 益	540	251	395	131	92	△ 39
営 業 外 損 益	438	277	△ 19	115	237	122
経 常 利 益	978	528	376	246	329	83
税 引 前 当 期 純 利 益	954	527	368	242	321	79
法 人 税 ・ 住 民 税 お よ び 事 業 税	290	174	120	75	115	40
法 人 税 等 調 整 額	8	△ 6	2	7	△ 10	△ 17
当 期 純 利 益	656	358	245	159	215	56

信用金庫と信金中央金庫

信金中央金庫は、信用金庫の中央金融機関です。信用金庫業界の総合力を発揮する観点から、様々な金融サービスを展開しています。



信金中央金庫グループ会社

- <証券業務>
しんきん証券(株)
 信金インターナショナル(株)
- <投資運用業務>
 しんきんアセットマネジメント投信(株)
- <消費者信用保証業務> 信金ギャランティ(株)
- <投資業務、M&A仲介業務> 信金キャピタル(株)
- <データ処理の受託業務等> (株)しんきん情報システムセンター
- <事務処理の受託業務等> 信金中金ビジネス(株)
- <海外ビジネス支援業務> 信金シンガポール(株)
- <地域商社業務> しんきん地域創生ネットワーク(株) (2025年7月1日現在)

しんきん証券TOPICS

SDGsへの取り組み

しんきん証券では、ESG関連の投資信託やグリーンボンド、ソーシャルボンドなどのSDGs債券の取扱いを通じてSDGsに貢献してまいります。

2016年に日本国内における初のSDGs債券が発行されて以降、発行件数・金額は年々増加を続けておりますが、当社においても、2024年度の共同発行市場公募地方債（グリーンボンド）発行に際し、初めて共同主幹事を務める（第3回債：2024年11月、発行額600億円、第4回債：2025年3月、発行額628億円）など、SDGs債券の引受による投資家の皆様へのSDGs投資機会の提供に注力しております。

なお、第4回共同発行市場公募地方債（グリーンボンド）は、ロンドン証券取引所グループ（LSEG）のDeal Watchが主催する「DEALWATCHアワード2024」において、地方債部門での「Bond of the Year」を受賞いたしました。

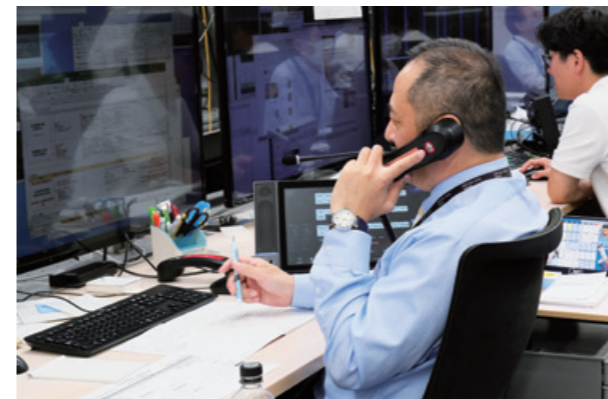
今後もしんきん証券では、SDGs関連商品としての信頼性を満たし、安定的で長期保有に適した良質な商品の提供を通じて、信用金庫をはじめとする多くの投資家の皆様のSDGsへの取り組みをお手伝いしていきたいと考えています。



お客様とともに歩み続けます

・しんきん証券 トレーディング風景

当社の商品は、刻一刻と変化するマーケットに即応することが求められます。
 長年培った情報提供力、商品企画力、そしてレートで、皆様のご期待にお応えしてまいります。



・「しんきん証券プラザ」当社8階オフィス内

「お客様が気軽に立ち寄れるカフェのような空間」をコンセプトに、お客様とface to faceで情報交換ができる、そのような場所を目指します。
 当プラザが起点となって、お客様同士の親睦の輪がますます広がるよう、皆様のお越しを心よりお待ちしております。



会社概要

名称	しんきん証券株式会社 (英文名 Shinkin Securities Co., Ltd.)	
所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目8番1号 電話 03-5250-1717 FAX 03-5250-1728	
主な事業内容	公社債等の引受・売買、投信・ETF取扱い	
資本金	300億円(資本金200億円、資本準備金100億円)	
株主	信金中央金庫(100%)	
沿革	1996年 9月 しんきん証券株式会社 設立 10月 証券業免許の取得、日本証券業協会加入 11月 営業開始 2007年 9月 金融商品取引法施行に伴う第一種金融商品取引業および第二種金融商品取引業の登録 2008年 2月 信用金庫会館 京橋別館に移転 2017年 7月 国債店頭取引清算資格取得 2018年 6月 日本格付研究所(JCR)格付取得 2021年 12月 東京証券取引所 総合取引参加者 資格取得	
役員	取締役社長	佐々木 英 樹
	取締役	田 中 宏 之
	取締役	猪 野 正 雄
	取締役	梅 津 勝 也
	執行役員	古 森 義 明
	執行役員	濱 名 明
	監査役	森 下 大 悟
	監査役(非常勤)	日 沖 肇
	監査役(非常勤)	飛 塚 洋 一
役職員数	74名(2025年3月31日現在)	
登録番号	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第93号	
加入協会	日本証券業協会  日本証券業協会 JSDA Japan Securities Dealers Association 一般社団法人 第二種金融商品取引業協会  第二種金融商品取引業協会 Type II Financial Instruments Firms Association	
指定紛争解決機関	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター 日本貸金業協会 貸金業相談・紛争解決センター	

2025年7月発行
 しんきん証券株式会社 (企画・編集 総務部)
 電話 03-5250-1717(代)
<https://www.shinkinsec.jp/>